1

製品概要

AirStation の特長や、動作環境を説明します。



通信料金について

 動作確認プロバイダや最新の情報は、AirStation のホームページからご覧いただけます。URL は次の通りです。
http://www.airstation.com/

プロバイダ契約について

AirStation を使ってインターネットをご利用になるためには、以下の条件を満たしたプロバイダと契約してください。

ルータを使用して、複数台のパソコンをインターネットに接続できるプロバイダ

プロバイダによっては上記の事項を禁止していたり、別途契約が必要な場合があります。契約に違反して AirStation をお使いになると、予想外の料金を請求される場合があります。必要な契約を行うか、この条件を満たしている他のプロバイダとの契約をご検討ください。

 プロバイダ契約を解約または変更した場合は、以下の両方を削除または再設定してください。
そのまま使用すると、回線業者やプロバイダ会社から意図しない料金を請求されることがあります。

- AirStation の接続設定
- AirStation に接続しているパソコンの、ダイヤルアップネットワークの設定

通信料金について

AirStation をお使いになるときは、あらかじめ以下の自動接続機能をご理解ください。

AirStation は、接続されたパソコンのアプリケーション（メールソフト、WEB ブラウザなど）が送信するデータや LAN 上を流れるデータの宛先を監視します。そのとき、インターネット宛てのデータがあると、AirStation に設定された内容に従って自動的にインターネットへ接続します。設定の間違いや電話回線の切断忘れがあったり、アプリケーションや接続しているネットワーク機器が定期送信パケットを発信していた場合は、予想以上の通信料金やプロバイダ接続料金のかかることがあります。

AirStation には、予想以上の通信料金をかけることなく、経済的に使うために、以下の機能がありますので、ご利用ください。
詳しくは、AirStation 付属の CD-ROM に収録されているオンラインガイドをご覧ください。

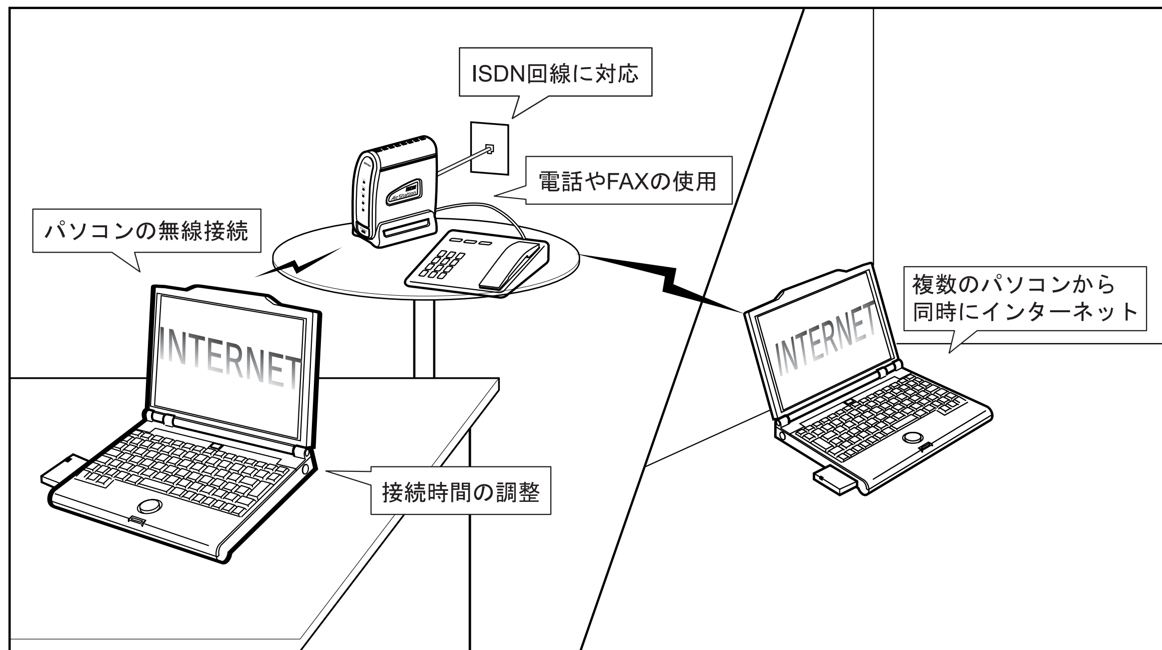
- 課金制限の設定
- 電話回線の自動切断時間の設定
- 通信記録や累積料金の表示
  意図しない発信がないか、累積料金が適当であるかを確認する


予想以上に通信料金がかかるのは、以下のような場合です。

- AirStation のプロバイダ接続や、MP 接続などの設定を変更した後
- AirStation に接続したパソコンに、インターネット対応アプリケーションをインストールした後
- AirStation にパソコンやネットワーク機器などを追加接続した後
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じたときなど

AirStation の特長

AirStation を 1 台導入する場合は、以下の機能がご利用になれます。
ご家庭での使用例で説明します。



ISDN 回線に対応

ISDN 回線（INS ネット 64 回線）を使ってインターネットへ接続できます。
ISDN 回線速度：64kbps（PPP 時）/128kbps（MP*1 時）

電話や FAX の使用

AirStation に電話や FAX（合わせて 2 台まで）を接続すると、インターネットをしながら、電話や FAX が使えます。

AirStation のバックアップ機能により、AirStation の TEL ポートに接続した電話や FAX は、停電時も使用できます。

パソコンの無線接続

パソコンを無線接続するので、ケーブル配線を気にすることなく、無線の通信距離内のお好きな場所からインターネットを使えます。
通信距離は、環境に影響されます。以下のページで確認してください。


「通信距離と設置場所について」74 ページ

無線で 11Mbps の高速通信ができます。（IEEE802.11b*2準拠）

*1. 1 つの通信に複数の回線を使うことで、より高速なデータ通信を可能にする方法。
*2. 最大 11Mbps の通信スピードを規格化したもの。

複数のパソコンから同時にインターネット

動的・静的 IP マスカレード*3機能を搭載しています。ISDN 回線 1 本で、複数のパソコンから同時にインターネットに接続できます。

接続時間の調整

通信料金の上限設定や、回線の自動切断機能を設定できるので、インターネットが経済的に使えます。

既存 DSU 内蔵 ISDN 機器とも接続可能

DSU 切り離しスイッチが内蔵されているため既存の DSU 内蔵 ISDN 機器やお手持ちの DSU にも接続できます。

ケーブルなしで LAN 構築

ケーブルを使わずに LAN が構築できるため、パソコンの増設も簡単です。

弊社の 11Mbps 無線 LAN カードや無線 LAN アダプタ以外に、弊社の従来製品である、2Mbps 無線 LAN カードをパソコンに取り付けた場合も通信できます。

*3. グローバル IP アドレス（インターネットで使うことを許可されたアドレス）が 1 つしかない場合でも、複数のパソコンから同時にインターネットを利用できる機能。

多チャンネル*1 機能　（全 14ch）

グループごとに無線チャンネルを設定することにより、効率の良い通信環境を構築できます。

プリンタ／ファイルの共有

無線接続のパソコン同士や、有線接続と無線接続のパソコン同士で、ファイルやプリンタを共有できます。

パソコンの有線接続

AirStation 背面の 10M/100M ポートにケーブルを接続すれば、ケーブルを使ってのパソコン接続もできます。

ローミング機能

AirStation に接続したままで移動できます。
移動すると、自動的に移動先の AirStation に接続されますので、接続し直す必要はありません。

*1. AirStation が 1 つのフロアに複数ある場合、それぞれの無線LAN ネットワークに異なる無線チャンネルを設定することで、他の無線 LAN ネットワークに影響されることなく、高速で通信できる機能。

AirMac 対応パソコンと接続可能

アップル社製 AirMac 対応の無線 LAN カードを搭載した iBook、iMacDV、G4（AGP モデル）とも通信できます。

ただし、初期設定およびファームウエアのバージョンアップは Windows パソコンからおこなってください。



- Windows ～ Macintosh 間のデータのやりとりには、それぞれの OS を認識させるユーティリティが別途必要です。
  Macintosh にインストールする［DAVE］や、Windows にインストールする［PC MACLAN］などをご利用ください。
- 弊社の従来製品である 2Mbps 無線 LAN カードと AirMac では、使用できる無線チャンネルが異なるため、同時に使用することはできません。
  弊社 2Mbps モデル：14 チャンネルのみ
  AirMac：1 ～ 13 チャンネル

DHCP サーバ機能を搭載

DHCP サーバ機能を搭載していますので、AirStation と接続したパソコンに、自動的に IP アドレスを割り当てることができます。

ハブなどの多彩な機能

- DSU、TA、ダイヤルアップルータ、4 ポートスイッチングハブを内蔵しています。
- S/T ポートに、ISDN 機器を 2 台まで接続できます。

Wi-Fi*1 認定済み

Wi-Fi 対応の他社製品と通信できます。

屋内 115m/ 屋外 550m （見通し） まで通信可能

屋内 115m/ 屋外 550m（見通し）までの通信が可能です。通信距離は設置状況によって異なります。詳しくは以下のページをご覧ください。


「通信距離と設置場所について」74 ページ

*1. 無線 LAN の国際標準規格。業界団体 WECA の相互運用性テストをクリアした製品にのみ与えられる。Wi-Fi 製品同士の互換性が保証されている。

WEP （暗号化） や無線接続パソコン制限で、 不正アクセスを防止

WEP（暗号化）によるセキュリティ機能（128 ビット /40 ビット WEP）、MAC アドレスによるフィルタリングを搭載しています。


WEP（暗号化）について

AirStation は電波を使って通信をおこなうため、外部から無線パケットを解析されてしまう可能性があります。セキュリティを確保するためには、無線パケットに「WEP」と呼ばれるパスワードを設定して通信をおこなうことを推奨します。
AirStation には、128 ビット WEP と 40 ビット WEP の 2 種類の WEP が設定できます。128 ビット WEP（文字入力 : 13 文字、16 進入力 : 26 桁）を設定することで、より高いセキュリティを設定することができます。ただし、40 ビット WEP のみに対応した無線 LAN 製品と通信する場合は、AirStation の WEP 設定も 40 ビット WEP（文字入力 : 5 文字、16 進入力 : 10 桁）に設定する必要があります。

動作環境

AirStation に接続するパソコンなどの動作環境は、次の通りです。

OS

次のいずれかの Windows がインストールされたパソコンをお使いください。

- Windows XP/Me/98/95
- Windows 2000/NT 4.0

WEB ブラウザ

AirStation の設定には、次のいずれかの WEB ブラウザが必要です。別途ご用意ください。

- Internet Explorer 4.0 以降
- Netscape Navigator 4.0 以降

WEB ブラウザをインストール済みの場合は、WEB ブラウザを起動して、［ヘルプ］メニューからバージョンを確認してください。

LAN ボード・LAN カード

AirStation に接続するパソコンに取り付ける LAN ボードや LAN カードは、以下のものをお使いください。

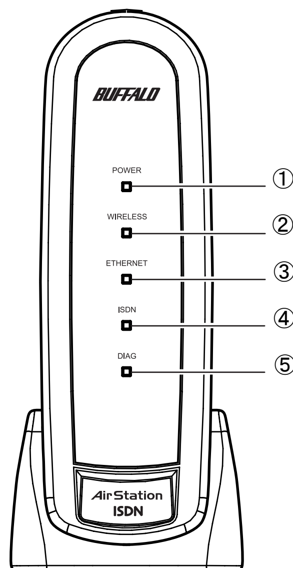
- AirStation とパソコンを無線で接続する場合
  無線 LAN カードや無線 LAN アダプタをお使いください。
  WLS-128GS をお持ちの方は、無線 LAN カード［WLI-PCM-L11G］が同梱されています。
  WLS-128GPS をお持ちの方は、無線 LAN カード［WLI-PCM-L11GP］が同梱されています。
  WLS-128GSU をお持ちの方は、無線 LAN アダプタ［WLI-USB-L11G］が同梱されています。

- AirStation とパソコンを有線（LAN ケーブル）で接続する場合
  お手持ちの LAN ボードをお使いください。

各部の名称とはたらき

AirStation の各部の名称とはたらきを説明します。

前面



① POWER ランプ

点灯（緑）	AC アダプタからの電源で動作しています。
点灯（赤）	乾電池で動作しています。
点滅（緑／赤）	フレックスホンの着信転送が設定されています。
消灯	AC アダプタが未接続で乾電池が入っていません。

② WIRELESS ランプ（緑）

点灯	無線 LAN 接続が有効の場合
点滅	無線 LAN 通信中

③ ETHERNET ランプ

点灯（緑）	リンク中
点滅（緑）	通信中
点灯 (オレンジ)	通信中（接続されているパソコン、ハブがすべて 10BASE-T の場合)

④ ISDN ランプ

点灯（緑）	B1 チャンネル使用中
点滅（緑）	B2 チャンネル使用中
点灯（赤）	B チャンネルを 2 つ使用中
点滅（赤）	回線異常 /ISDN 回線ケーブルが未接続

⑤ DIAG ランプ（赤）

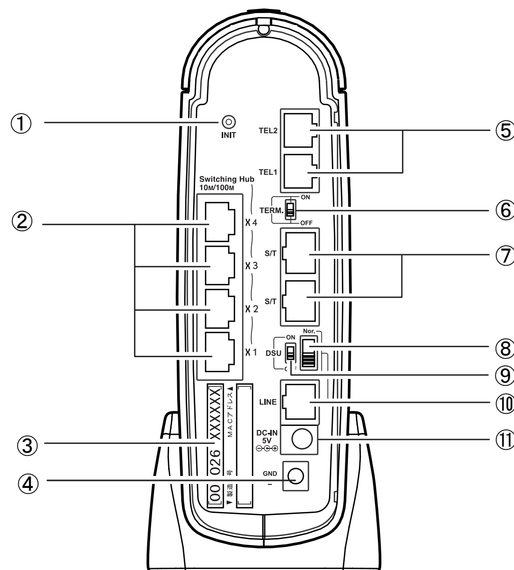

DIAG ランプは、データの書き込み中も点灯します。データの書き込み中は、絶対に AC アダプタの抜き差しを行わないでください。
データの書き込みは、AirStation の設定時とファームウェア更新時に行われます。

点灯	起動途中 / フラッシュメモリ書き込み中 / 異常発生（次の表をご覧ください）
消灯	異常なし

DIAG ランプの点灯回数により異常内容を示します。次の表でエラーの内容を確認し、一度、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
再び差し込んだときもランプが点灯している場合は、弊社の修理センター宛てに AirStation をお送りください。

点灯回数	状態	説明
1 回	RAM チェック異常	内部メモリの読み書きができません。
2 回	ROM チェック異常	フラッシュ ROM の読み書きができません。
3 回	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。
5 回	時計異常	時計が正常に設定されていません。または、時計の電池が切れているおそれがあります。 時計が正常に設定されていないときは、ダイヤルアップすることができません。AirStation の時計を再設定してください。電池が切れているときでも、AirStation の AC アダプタを抜いて電源 OFF にするまで、時計の設定は保持されたままです。時計は、AirStation の設定画面から［詳細設定］－［時間］で設定してください。
6 回	TA 異常	TA の設定を更新できませんでした。AC アダプタを抜き差しして、AirStation を再起動してください。
9 回	上記以外の異常	

背面



① 初期化スイッチ
スイッチを 3 秒以上押すと、AirStation が出荷時設定に戻ります。


「AirStation を出荷時設定に戻す」69 ページ

② 10M/100M ポート
パソコンやハブを接続します。

③ MAC アドレス
AirStation の MAC アドレスが記載されています。
004026 から始まる 12 桁の値です。

④ アース端子
アース線を接続します。

⑤ TEL ポート
電話機や FAX を接続します。

⑥ TERM スイッチ
終端抵抗を設定するスイッチです。

⑦ S/T ポート
ターミナルアダプタなどの ISDN 機器を接続します。

⑧ ISDN 回線極性スイッチ
INS ネット 64 回線の極性が反転しているときに切り替えます。



- ISDN 回線ケーブルを接続して ISDN ランプが赤色で点滅しているときは、極性が反転しています。スイッチを切り替えてください。
- スイッチを切り替えるときは、ペンのような先の尖ったものをお使いください。

⑨ DSU スイッチ
O N: 内蔵 DSU を使用します。
（ISDN 回線へ直接接続する場合）
OFF: 内蔵 DSU を使用しません。
（既にお使いの DSU に接続する場合）

⑩ LINE ポート
ISDN 回線ケーブルで、INS ネット 64 回線に接続します。

⑪ DC コネクタ
付属の AC アダプタを接続します。

 ISDN 機器を接続しない場合、AirStation の TERM スイッチは ON のままにしておいてください。

 雷対策のおすすめ

雷が発生すると、電線や電話回線などに、雷サージ電流と呼ばれる高電圧の大電流が流れることがあります。電線や電話回線を通じて、AirStation やパソコンに雷サージ電流が流れると、故障の原因となります。
雷が発生したときは、AirStation およびパソコンに接続しているケーブル類をすべて取り外してください。ただし、すぐ近くで雷が発生している場合は、感電の恐れがありますので、絶対に AirStation やケーブル類に触れないでください。

設定ユーティリティについて

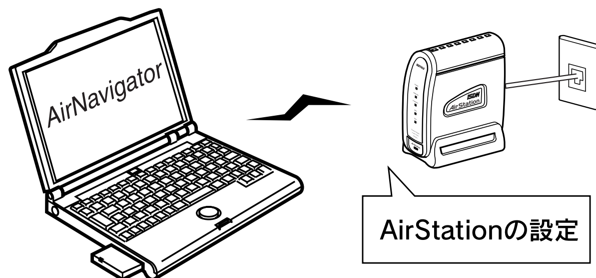
AirStation を設定するときに使うユーティリティを紹介します。
ユーティリティは、AirStation に同梱されている CD に収録されています。

AirNavigator

無線 LAN カード／アダプタのインストールや AirStation の基本設定を行うユーティリティです。ウィザードやガイダンスに従って操作するだけで、必要な設定が行えます。

対応機種

Windows XP/Me/98/95/2000 のいずれかが動作するパソコン

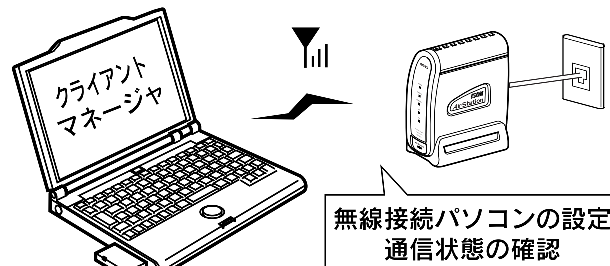


クライアントマネージャ

AirStation との接続や、AirStation の詳細設定画面の表示・管理を行うユーティリティです。
無線接続パソコンと AirStation との通信状況を確認することもできます。

対応機種

Windows XP/Me/98/95/2000/NT 4.0のいずれかが動作するパソコン



接続 / 切断ユーティリティ

インターネットへの接続/切断を行うユーティリティです。自動的に接続される回線を手動で接続 / 切断したい場合などにお使いください。
AirStation が現在インターネットに接続中かどうかも確認できます。



PC カードスロットが 1 つしかないノートパソコンをお使いの方へ

AirStation を設定するときや、弊社製無線 LAN カードをインストールするときは、CD-ROM ドライブを使用します。PCカードスロットに接続するCD-ROM ドライブをお使いの場合で、PC カードスロット用無線 LAN カードを使う場合は、あらかじめ、AirNavigatorCD の内容を、ハードディスクにコピーする必要があります。

AirNavigator CD の内容のコピー

AirNavigatorCD の内容のハードディスクへのコピーは、以下の手順にしたがってください。

1. パソコンに CD-ROM ドライブを取り付けます。

2. CD-ROM ドライブに、AirStation 付属の AirNavigator CD をセットします。

［AirNavigator］の画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして閉じてください。

3. ［表示］メニューの［フォルダオプション］を選択します。
（WindowsMe の場合、［ツール］メニューの［フォルダオプション］を選択します。）

4. ［表示］タブをクリックし、「すべてのファイル（、フォルダ）を表示する」を選択します。

5. デスクトップの［マイコンピュータ］を起動して、CD-ROM ドライブを開きます。

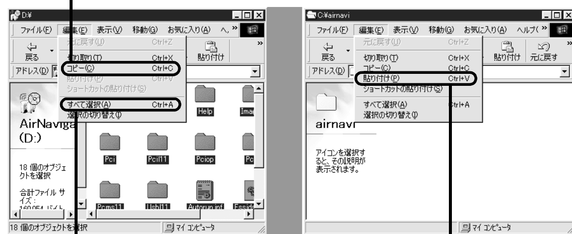


6. 再度デスクトップの［マイコンピュータ］を起動して、ハードディスクドライブ（例 :C ドライブ）を開きます。

7. ［ファイル］－［新規作成］－［フォルダ］を選択して、新規フォルダ（例 :airnavi）を作成します。

8. 手順 4 で作成したフォルダに、AirNavigator CD に収録されているファイルをすべてコピーします。

②［編集］メニューの［コピー］をクリックして、
クリップボードへコピーします。



①［編集］メニューの［すべて選択］を
クリックして、 全ファイル選択

③コピー先のフォルダ（例 C:¥airnavi）で［編集］メニューの
［貼り付け］をクリックしてファイルを貼り付けます

AirStation の設定で、AirStation 付属の AirNavigator CD を使うときは、CD を使う代わりに、上記でハードディスクにコピーしたファイルを使用してください。

AirStation の設定について

AirStationの設定をするには、まず最初に「AirNavigatorCD」を CD-ROM ドライブにセットします。

パソコンに弊社製無線LANカード/アダプタをインストールする場合も、**取りつける前に「AirNavigatorCD」を CD-ROM ドライブにセットします。**

プロバイダから配布されているPPPoE接続ツール（フレッツ接続ツールなど）をパソコンにインストールしている場合は、アンインストールしてください。AirStation を使ってインターネットに接続する場合、PPPoE 接続ツールは不要です。

「AirNavigatorCD」を CD-ROM ドライブにセットすると、「AirNavigator」が起動します。



上記の画面が表示されないときは、デスクトップの［マイコンピュータ］にある、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックします。

AirStation の設定については、添付の「らくらく！セットアップシート」を参照しておこなってください。

停電時のバックアップ

停電のときのために、市販の乾電池を AirStation に入れておいてください。

単 3 アルカリ乾電池を 6 本使用します。
AirStation に乾電池を入れておくと、バックアップ機能により、停電のときでも TEL ポートに接続した電話機などが使えます。



停電のときに使えるのは、電話と FAX のみです。インターネットへの接続や、無線 LAN / 有線 LAN の使用はできませんので、ご注意ください。



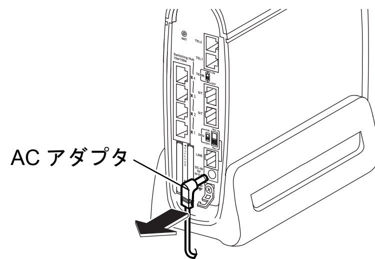
- 停電のときは、自動的にバックアップ機能が作動します。
- バックアップ時間の目安は以下の通りです。ただし、ご使用の環境によってバックアップ時間が異なります。
  以下は、新品のアルカリ乾電池を入れて、電話か FAX を 1 台接続した場合です。
  通話：約 2 時間
  待ち受け：約 3 時間
- 停電中は、内線通話や内線転送もできます。電話の使い方については、AirStation に付属の CD-ROM に収録されているオンラインガイドをご覧ください。
- 停電が発生しなかった場合も、1 年に 1 回程度、乾電池を新しいものに交換することをお勧めします。
- 交換する電池は、6 本とも同じ種類の新しいものをお使いください。

乾電池は以下の手順で入れてください。

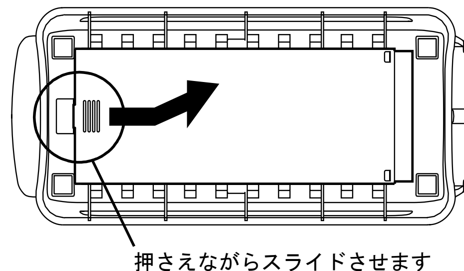
1. 単 3 アルカリ乾電池を 6 本ご用意ください。

乾電池は同梱されていません。別途ご用意ください。

2. AirStationにACアダプタが接続されている場合は、AC アダプタを抜きます。

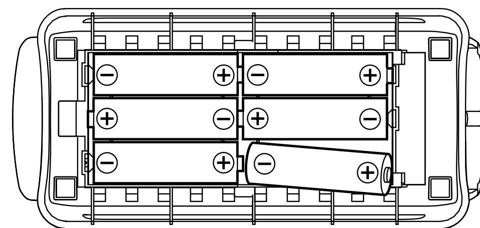


3. AirStation底面の乾電池ケースを開けます。



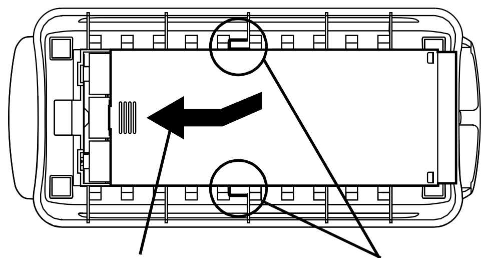
4. 乾電池を入れます。

プラス (+)、マイナス (-) の向きに注意して、正しくセットします。



5. 乾電池ケースを閉めます。

両脇のツメに引っ掛けて、ふたをスライドさせて閉めます。



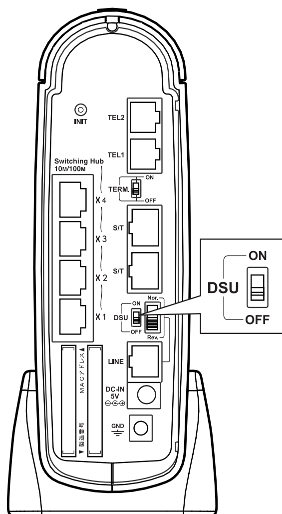
ふたをスライドさせて閉めます

ケースをツメにひっかけます

ISDN 機器の接続について

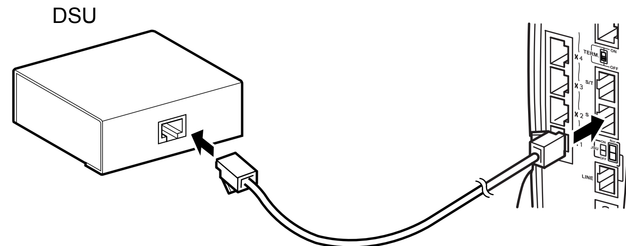
既にお使いの DSU へ AirStation 続する場合

1. DSU スイッチを「OFF」に設定します。



2. 別売りの S/T ケーブルを AirStation の S/T ポートに接続します。

S/T ケーブルのもう一方は、お使いの DSU の S/T ポートに接続します。



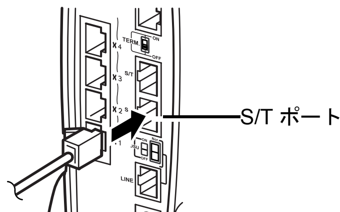
その他の ISDN 機器

AirStation と、電話機や FAX 以外の ISDN 機器を接続する場合にのみ、お読みください。

1. 電話や FAX 以外の ISDN 機器は、S/T ポートに接続します。

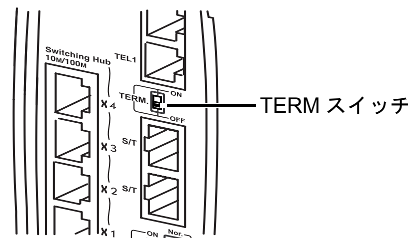


- ISDN 機器を接続するケーブルの長さは、合計 100m まで使用できます。
- ISDN 機器は、カスケード接続で合計 7 台まで接続できます。



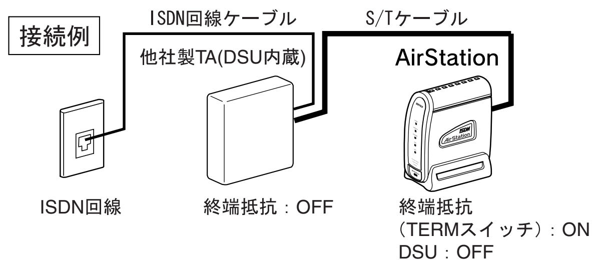
2. TERM スイッチを設定します。

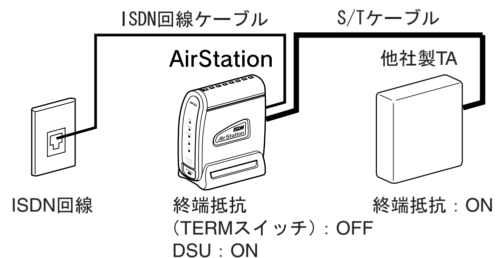
- 終端抵抗のない ISDN 機器を 1 台接続した場合（ケーブルの長さ 10m 以内) は、ON にします。
- 終端抵抗のある ISDN 機器を 2 台～ 7 台接続した場合は、OFF にします。
  このとき、AirStation から一番離れたところにある（一番長いケーブルを使っている）ISDN 機器の終端抵抗を ON に設定します。

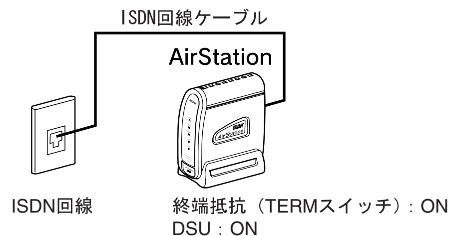


＜接続例＞

接続例


ISDN回線ケーブル
S/Tケーブル
他社製TA(DSU内蔵)
AirStation
ISDN回線
終端抵抗：OFF
終端抵抗
（TERMスイッチ）：ON
DSU：OFF


ISDN回線ケーブル
S/Tケーブル
AirStation
他社製TA
ISDN回線
終端抵抗
（TERMスイッチ）：OFF
DSU：ON
終端抵抗：ON


ISDN回線ケーブル
AirStation
ISDN回線
終端抵抗（TERMスイッチ）：ON
DSU：ON

電話機の基本設定

AirStation の TEL ポートに電話機を接続した場合は、電話機の各機能を使えるように設定します。
ここでは、以下の機能の設定方法を説明します。

- ダイヤルインサービス
- i・ナンバーサービス
- 発信電話番号表示サービス（INS ナンバー・ディスプレイ）
- 発信者番号通知サービス

ダイヤルインサービス

TEL1 ポートと TEL2 ポートに 2 台の電話機を接続すると、1 台には契約者回線番号を、もう 1 台にはダイヤルイン番号を設定できます。


この機能を使うためには、NTT のダイヤルインサービスから、［グローバル着信］の契約をしておくことが必要です。

TEL1 ポートの電話機に契約者回線番号を、TEL2 ポートの電話機にダイヤルイン番号を設定する場合を例に、説明します。

手順	ダイヤル操作	受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	0 0 ＊ 1 0 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
4	受話器を置きます。	-
5	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL1 ポートの設定開始）	ツー
6	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
7	1 0 ＊ 契約者回線番号をダイヤル ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
8	# ＊ #	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	受話器からの音
9	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-
10	TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL2 ポートの設定開始）	ツー
11	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
12	1 0 ＊ ダイヤルイン番号をダイヤル ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
13	# ＊ #	プッ、プッ、プッ
14	受話器を置きます。 （TEL2 ポートの設定終了）	-

i・ナンバーサービス

TEL1 ポートと TEL2 ポートに接続した 2 台の電話機を、別々の電話番号で呼び分けます。

 この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、i・ナンバーサービスを契約しておくことが必要です。

以下の場合を例に説明します。
契約者回線番号または i・ナンバー 2 にかかってきたとき TEL1 ポートの電話機が、i・ナンバー1 にかかってきたとき TEL2 ポートの電話機が鳴るように設定する。

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	3 3 ＊ 1 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
4	[3] [4] [*] [1] [*] [*] 契約者回線番号で TEL2 ポートを呼びたいときは [3] [4] [*] [2] [*] [*]	プッ、プッ、プー
5	[3] [5] [*] [2] [*] [*] i・ナンバー 1 で TEL1 ポートを呼びたいときは [3] [5] [*] [1] [*] [*]	プッ、プッ、プー
6	[3] [6] [*] [1] [*] [*] i・ナンバー 2 で TEL2 ポートを呼びたいときは [3] [6] [*] [2] [*] [*]	プッ、プッ、プー
7	[#] [*] [#]	プッ、プッ、プッ
8	受話器を置きます。	-
9	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL1 ポートの設定開始）	ツー
10	[*] [*] [1] [2] [8]	プッ、プッ、プッ、プー
11	[3] [7] [*] [1] [*] 契約者回線番号をダイヤル [*] [*]	プッ、プッ、プッ
12	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-
13	TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL2 ポートの設定開始）	ツー
14	[*] [*] [1] [2] [8]	プッ、プッ、プッ、プー
15	[3] [7] [*] [2] [*] i・ナンバー 1 をダイヤル [*] [*]	プッ、プッ、プッ
16	受話器を置きます。 （TEL2 ポートの設定終了）	-
17	TEL1 ポートの電話機の受話器をあげます。 （TEL1 ポートの設定開始）	ツー
18	[*] [*] [1] [2] [8]	プッ、プッ、プッ、プー
19	[3] [7] [*] [3] [*] i・ナンバー 2 をダイヤル	プッ、プッ、プッ

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
20	受話器を置きます。 （TEL1 ポートの設定終了）	-

発信電話番号表示サービス （INS ナンバー ・ ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機や FAX をお使いの場合、相手の電話番号や、番号表示ができない理由を表示させることができます。



- この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、ナンバーディスプレイサービスを契約しておくことが必要です。
- 以下のような電話がかかってきた場合、相手の電話番号は表示されません。

  公衆電話からかけた相手からの電話
  電話番号の最初に「184」を付けてダイヤルした相手からの電話
  常時通知拒否契約の回線からの電話

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	TEL1 または TEL2 ポートの電話機の受話器をあげます。	ツー
2	＊ ＊ 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	1 7 ＊ 1 ＊ ＊	プッ、プッ、プッ
4	# ＊ #	プッ、プッ、プッ
5	受話器を置きます。（設定終了）	-

発信者番号通知サービス

電話をかけるときに、自分の電話番号を相手に通知するかしないかを設定できます。



- 「通常非通知（回線ごと非通知）」を契約している場合は、以下の操作で「通知をする」設定をしても通知されません。
- この機能を使うためには、NTT の INS ネット 64 で、発信者番号通知サービスの契約をしておくことが必要です。
  ただし、電話をかけるとき、電話番号の前に「184」または「186」を付ければ、契約・設定は不要です。
- 発信者番号通知の優先順位は、以下の通りです。
  高：「184」、「186」を電話番号の先頭に付ける
  低：AirStation の設定（「通知する」/「通知しない」）

手順	ダイヤル操作	ダイヤル操作後の受話器からの音
1	発信者番号通知を設定する電話機の受話器をあげます。	ツー
2	* * 1 2 8	プッ、プッ、プッ、プー
3	発信者番号通知をしない場合 1 2 * 0 * *	プッ、プッ、プッ
	発信者番号通知をする場合 1 2 * 1 * *	
4	1 0 * （登録する番号）をダイヤル * *	プッ、プッ、プッ
5	# * #	プッ、プッ、プッ
6	受話器を置きます。 (設定終了)	-

＝ MEMO ＝